

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 8日

都道府県知事
(市長) 殿



提出者
住 所 大分県杵築市大田永松13番地
氏 名 長谷雄牧場 有限会社
代表取締役 長谷雄 一彦
電話番号 0978-52-3138

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	長谷雄牧場有限会社
事業場の所在地	大分県杵築市大田永松13番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	肉用牛 640頭
③ 従業員数	7人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿・・・自らたい肥化 動物の死体・・・化製場へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長 (廃棄物統括責任者)

廃棄物処理方針の決定

廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認

事務員 (廃棄物実務担当者)

廃棄物処理計画の作成

委託契約の締結事務

産業廃棄物管理票の交付・管理

行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	2838 t	2.5 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	2838 t	2.5 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
-----	------------------------------------

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
-----	---------------------------------------

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	3880 t	t
	（これまでに実施した取組） 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	6016 t	t
	（今後実施する予定の取組） 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1269 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1968 t	t

		(今後実施する予定の取組)
--	--	---------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	2.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

		<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>動物の死体は化製場に委託処理している</p>
--	--	--

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全 処 理 委 託 量	2.5 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>動物の死体は化製場へ委託し処理する</p>		
	※事務処理欄		